

米沢市雪対策総合計画<改定版> (案) に対するパブリック・コメントへの回答について

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
1	施策 5 親雪・利雪・学雪の推進	20 ～ 21	<p>○親雪・利雪・学雪の推進について</p> <p>5-1 の観光振興も大切だが、5-3, 4, 5 のように市民自らが雪に親しみ楽しみ、それを文化として継承することがさらに大切である。現在、雪灯籠まつりや斜平山カンカン渡り、学校でのスキー授業、天元台でのリボン事業などを行なっているが、さらにスノーシュー・ワカンを利用した里山や裏山の森歩き体験を行なってはどうか。スポーツ的な要素と自然学習の要素を兼ね備えているので大人はもちろん子どもたちに良い影響がある。スノーシュー・ワカンはスキーに比べて殆ど技術を要しないので、歩ける人はすぐに楽しめる。ただスノーシューは数万円程度の金額がかかるので、例えばコミセンで揃えてレンタルする方法がある。現在でも西部コミセンでは冬季はクロカンスキーのレンタルをしながらイベントを行なっているので可能と思われる。また、スノーシューについては本県西川町でうまく活用しているので参考になると思われる。</p>	<p>雪に親しむ事業については、各地区のコミュニティセンターにおいて様々な企画を立てていますので、さらにより良いものになるよう、ご意見のあった内容を情報提供していきます。</p> <p>なお、本市では、第 2 期米沢市スポーツ推進計画の今年度中の策定を目指しており、計画の骨子 (案) では、市民の冬期間における運動機会の充実に向けた事業の中で、健康増進とスポーツ推進の面から、スノーシューを活用した取組を検討する予定としておりますので、米沢市雪対策総合計画&lt;改定版&gt; (案) の「施策 5 親雪・利雪・学雪の推進」の中に「5-6 冬期間の運動機会の提供」を新設し、スノーシューを活用するなど、冬期間の運動促進の取組を検討していく内容を追記します。</p>	有